

令和6年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	千里浜観光交流拠点施設	所在地	羽咋市千里浜町タ1番地62
指定管理者	羽咋まちづくり株式会社		
住所	羽咋市千里浜町タ1番地62	選定方法	非公募
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
指定管理料	2,376千円（令和6年度決算額）		
評価担当課	商工観光課		
年度重点目標	・経費の削減（人件費・光熱水費等） ・客単価向上への取り組み		

評価項目		評価する内容の詳細	評価 中間	評価 年間	確認方法	備考
1	職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A	A	聞き取り	全体53名 正社員8名、パート・アルバイト45名 R7.3.31現在
		事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A	A	聞き取り	年間2回実施。 8月中止。食品衛生の研修を12月に実施（講師：㈱アルプ）。次回、8月27日を
		指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。（届出済みの業務委託部分は除く）	A	A	聞き取り	申請分以外の再委託なし。
2	施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A	A	聞き取り	適正に実施されている。
		整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A	A	現地	適正に実施されている。
		法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A	A	現地	適正に実施されている。 ・R6.11実施 ・次回R7.6予定
		保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A	A	現地	適正に実施されている。
		備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A	A	現地	適正に実施されている。
3	サービス向上への取組状況（アンケート調査による意見及び対応は項目9に）	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A	A	現地	適正に実施されている。
		特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A	A	聞き取り	適正に実施されている。
		利用者に対して満足度について調査（アンケート・意見箱の設置等）を行ったか。	A	A	現地	意見箱を常設し、市へ毎月報告。 適正に実施されている。
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A	A	聞き取り	適正に実施されている。
4	防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A	A	聞き取り	適正に実施されている。12月12日実施。
		リスクに応じた保険等に参加しているか。	A	A	聞き取り	業務災害総合保険、総合賠償責任保険、起業財産総合保険 加入

評価項目		評価する内容の詳細	評価		確認方法	備 考
			中間	年間		
5	個人情報保護の措置状況	個人情報は適正に管理されているか	A	A	現地	適正に実施されている。
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A	A	聞き取り	適正に実施されている。
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A	A	報告書	予算：183,720千円、実績：205,958千円計画以上の売上を達成。 (別紙、月次推移損益計算書より)
		料金等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A	A	聞き取り	適正に実施されている。 (震災により軒下利用事業者は減少)
7	施設利用状況	施設の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A	A	報告書	利用者数は前年より減少したが売上は増加傾向にある。 震災による軒下利用の減少により、店内の購買増加につながっている可能性がある。
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	B	A	報告書	適正に実施されている。
9	アンケート調査意見及び対応	・施設に隣接する調整池の利活用として、ドッグランを試験運用中。休憩場所や施設利用における安全面など、設備における意見のほか、利用制限にかかる意見など、多くの反響があった。 ・指定管理者と市で協議しながら対応する。				
10	今後、検討・調整が必要な事項	・夏場の施設内の温度については、令和7年度実施する増築のための実施設計に空調効率向上も計画に含める方向で検討。空調設備の追加や更新等、多角的に解決策を検討する。 ・食品の品質保持や利用者の満足度(購買意欲)向上、労働環境の改善等、施設内の温度管理は重要だが、経費削減のため、冷房の出力を抑えている。利用者からの苦情もあり、早急に対応が必要であることから、出力を上げた場合の経費の増額について試算し、今後の対応を検討。				
11	今後の管理方針	・経費削減しながら、室温が原因として利用者満足度(客単価)を低下させないよう対策し、さらに購買意欲につながる環境整備を進める。 ・軒下利用については、利用促進によって期待できる集客効果に対する、店内客単価減の相関関係のバランスを見ながら、収益増につながるよう利用料の再検討を進める。 ・利用者数増及び売り上げ増(客単価向上)につながる商品開発や委託販売商品の開拓を行う。 ・集客・販促効果が高い店内イベントの企画を進める。				
総合評価		中間評価	年間評価		令和5年度	令和4年度
		A	A		A	A

【別紙1】指定管理者制度施設の利用者数及び収入額について

【注意点】

1. 各施設ごとに記入してください。
2. 差引増減数及び増減額が大きい場合は理由を記入してください。
3. 表が足りない場合は、表又はシートをコピーしてください。

【所管課】 商工観光課

【施設名】

道の駅のと千里浜

1. 利用者について

(単位:人)

	今年度 利用者数	前年度 利用者数	差引	増減率
上半期(4月～9月)	133,401	143,040	-9,639	-6.7%
下半期(10月～3月)	91,642	93,036	-1,394	-1.5%
計	225,043	236,076	-11,033	-4.7%
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)				

2. 使用料又は利用料について

(単位:千円)

	今年度使用料 又は利用料	前年度使用料 又は利用料	差引	増減率
上半期(4月～9月) 総売上	253,653	251,235	2,418	1.0%
うち使用料	1,633	1,823	-190	-10.4%
下半期(10月～3月) 総売上	206,313	210,337	-4,024	-1.9%
うち使用料	355	928	-573	-61.7%
総売上計	459,966	461,572	-1,606	-0.3%
使用料計	1,988	2,751	-763	-27.7%
差引増減数が大きい理由(増減率 ±10%以上の場合記入)	復興応援の購買増加と軒下出店減による店内売上増。 軒下の出店頻度の減少(事業者都合)による使用料減。			